

令和元年度 第1回 石巻南浜津波復興祈念公園有識者委員会の概要

【令和元年度 第2回 石巻南浜津波復興祈念公園有識者委員会 資料】

令和元年11月5日

○令和元年度 第1回 石巻南浜津波復興祈念公園有識者委員会

【開催日時】 令和元年5月29日(水) 13:30～15:30

【会場】 石巻グランドホテル 鳳凰の間

- 【議事】 (1)平成30年度 第1回有識者委員会の概要について
(2)検討体制と事業スケジュール(案)について
(3)祈りの場の空間デザインについて
(4)宮城県における震災の記憶・教訓伝承の検討状況について
(5)市民活動拠点の概要について
(6)碑像等の受入れ条件(案)について
(7)参加型維持管理運営検討協議会の検討状況について
(8)石巻市慰霊碑設置計画(案)について

○委員名簿

委員長 涌井 史郎 (東京都市大学環境学部教授)

副委員長 森山 雅幸 (宮城大学名誉教授)

委員 牛尾 陽子 (公益財団法人東北活性化研究センターフェロー)

委員 岸井 隆幸 (日本大学理工学部特任教授)

委員 中静 透 (総合地球環境学研究所特任教授)

委員 舟引 敏明 (宮城大学事業構想学群教授)

委員 亀山 紘 (石巻市長)

委員 門脇 雅之 (宮城県土木部長)

(代理 土木部次長 佐藤 達也)



令和元年度 第1回委員会の様子

※敬称略

○祈りの場の空間デザインについて

ご意見	対応状況
加工のしやすさ、耐久性、補修性等、超長期に渡り使用していく施設であることを踏まえて、材質や部材の固定方法について考えておいた方がよい。	<ul style="list-style-type: none"> • 献花台本体は御影石の無垢材とし、将来的に更新が必要となる花止めは更新しやすさにも配慮した構造とする。
花止めの金物と御影の埋め込みのシーリング部は、だれ等が出やすいので汚くならないよう十分配慮が必要。	<ul style="list-style-type: none"> • 金物材の材質、仕上げ等に配慮する。
海外のV I Pが来られて献花するときには花束ではなく花輪を置かれるというケースがあるので、花輪の立てかけ方をシミュレーションしておいたほうがよい。	<ul style="list-style-type: none"> • 献花する花輪に対応できる構造を検討する。
強い風に対して花が飛散しないよう献花金具のディテールを再度検討すべき。	<ul style="list-style-type: none"> • 現地にモックアップを設置して風に対する影響を確認する。
車椅子利用者や子供、高齢者でも献花しやすいように配慮すべき。	<ul style="list-style-type: none"> • 車いす利用者でも献花できる人体寸法を考慮したデザインとする。
祈りの場の舗石は、ピースが多いがゆえ不陸が生じやすいので、路盤構成は間違えないようにすべき。	<ul style="list-style-type: none"> • 路盤は適切な締固め管理を行い、不陸が生じないような路盤構成とする。
ぬいぐるみや飲み物などを供えることも想定して、対応を考えておく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> • 食べ物や飲み物は、小動物によって荒らされる可能性がある為ご遠慮頂くが、多様な祈りの形を受入れる為、追悼の広場の北側に献花台を設置する方向で検討する。
自転車はどこまでアクセスでき、どこでコントロールするのか。しっかりした検討が必要。	<ul style="list-style-type: none"> • 県内の他の大規模公園と同様に園内への自転車の乗り入れを禁止し、公園の外周道路を通行して移動し、園内駐車場に駐輪いただくものとする。

○宮城県における震災の記憶・教訓伝承の検討状況について

ご意見	対応状況
<p>具体的にこういう展示になるというのが、目途がついてくるのは大体いつ頃か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 展示制作業務については、令和元年9月に株式会社乃村工藝社と契約を行った。今後、住民説明会を開催するなど、関係者の御意見を伺いつつ、整備を進める予定。
<p>県内市町村の震災伝承のネットワーク体制構築については、中核的施設の展示の範囲を超えていると思う。どの施設に行っても同じように、県内施設の一覧があり、案内ができるようにすべき。</p> <p>できれば各市町村の施設と中核的施設において、全体をしっかりと情報伝達できるようなサインなり、マップなりを統一的に作り、各地がそれを使うことをやってほしい。</p> <p>震災の記憶・教訓伝承は県がリードするのが一番よい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方整備局と被災四県（青森，岩手，宮城，福島），仙台市で構成する「震災伝承ネットワーク協議会」において，震災伝承施設のネットワーク化を図っており，8月1日に設立された「（一社）3.11伝承ロード推進機構」において，その取組を推進していくこととしている。今後，産学官民が連携し，震災伝承施設のマップやモデルルートの整備，ツアーの企画などに取り組んでいく予定である。 県の震災伝承体制については，今年度中に県の「震災伝承に関する基本方針」を策定すべく作業中である。
<p>県の伝承展示ではあるが石巻市のさまざまな施設との連携も考えなければならない。</p> <p>市が中心に考える事だが、市の情報伝達のサインシステムと県のシステムはぜひ連動させ、ばらばらにならないよう留意すべき。</p> <p>この公園は広いので、公園そのものを説明するサインシステム全体、ピクトも含めて、しっかりと統一的にすることが必要。サインは多言語で情報伝達できるようにすべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園内のサインシステム、全体やピクトグラムにおいては、国の平成29年度の検討内容をベースに再検討しており、現地施工に反映させる。
<p>震災伝承は、再び災害が起こったときのソフト的な強靱化を目指すことが本当の目的だと思う。</p> <p>災害への備えが重要であることを認識させることが究極的な目的であることも意識して、展示検討をお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県の展示整備に当たっては、何よりもまず、未来の大災害から「いのちを守る」ため、つまり、災害に備えるために東日本大震災の記憶を伝え続けることを重要視している。主な展示の一つとして、リアルな映像や科学的視点をもって、津波の恐ろしさを伝えるとともに、命を守ることを最重要事項と捉え、津波から「逃げる」ことの重要性を徹底して訴えるシアターを整備していく。

○市民活動拠点の概要について

ご意見	対応状況
<p>市民活動拠点だけではなく、その後どうやって全体をつくり上げていくかというところも含めて考えると、今の段階でいろいろな方々を巻き込んでおくというのは非常に有効だと思う。</p> <p>一方で、継続性については、明確に決めた部分と時間をかけて作り上げる部分とを想定しながら検討を行うと良いと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2020年度末の開園に向けて、市民活動拠点の整備内容や活動規約について利用者と協議を進めている。

○碑像等の受入れ条件(案)について

ご意見	対応状況
<p>碑像というものは設置だけではなく、その後の維持管理という問題が出てくるので、新しい試みとして設置管理希望者が民間である場合、維持管理に対して供託金を設置時に取るというような考え方ができないか。</p> <p>国や公共ないしは自治体が設置する場合は税金だが、民間の方が志を持たれて設置する碑像の維持管理を税金から出すというのは設置の趣旨からずれてくると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 碑像の受入れは、都市公園法第5条の設置許可により対応し、設置者が管理まで行なうこととする。これにより、維持管理の財源の問題は発生しないことから、供託金の受入れは基本的に行なわない。
<p>これだけの広さを確保するという事は、設置希望者が多いと想定しているのか。濡仏線から西側の追悼の広場側へ碑像を設置してよいか疑問である。</p> <p>追悼の広場はもう少し静かなところである必要を感じ、碑像は馴染まないと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 祈念碑の辻周辺の祈念碑の杜は、基本的にクロマツの植栽で囲まれ、追悼の広場から一丁目の丘に包まれた空間構成であることが認識できるよう、枝下空間が抜けるような配慮がなされている。 平成28年度第2回有識者委員会等においてこれまで議論した結果、碑像等の設置場所として位置づけられている。
<p>宮城県内でここしかない国営追悼・祈念施設ということになると、例えば女川や南三陸などの市町がここに追悼の碑を建てたいという要望が出ることは十分にあり得るのではないか。</p> <p>そのため先んじてスペースを確保しておくべきで、申し出があったからチェックしますという設置の順番だけの考えでは、被災市町が奥に行ってしまう公園の主旨から乖離するので、各市町の希望があれば設置できるようにしておくべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公園の基本理念により、特定の犠牲者を慰霊するものは設置しないものとした。 今後、多様な碑の設置希望が想定されるため、規約を定め、碑像等受入れ検討会議において慎重に判断する。
<p>碑像等受入れ検討会議にぜひ一般の方々や役所系統ではない外部の方たちを入れてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 選定にあたっては国・県・市の他、デザインの指導をいただいている有識者及び公園利用を検討している参加型維持管理運営検討協議会の会長を加えることとする。

○参加型維持管理運営検討協議会の検討状況について

ご意見	対応状況
<p>いろいろなイベントを企画する人が出てくる可能性があり、持ち込みを希望するイベントに対してどのように対応していくか早目に検討しておくべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> イベント等の受入れについては、この公園に相応しいものかの判断が必要であり、国・県・市で受入基準を今後検討していく。
<p>イベントや碑像の他に献木したいという人が多数出てくる可能性があると思うので、献木の受入れ対応についても考えておく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 苗木の寄贈・植樹について、すでに様々な団体等から申し出があり、基本計画に合致した内容で、受入れながら、条件等を整理している。
<p>善海田池は水位・水質管理の他に、ヨシ等の水生植物管理が伴うと考えられるので、公共の管理の他に市民とどのように連携していくのかという課題はあらかじめ想定できると思うので、そのあたりも含めて協議するとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後、市民との連携を含め、善海田池・聖人堀における管理について、国・県・市で検討していく。
<p>水辺の管理は非常に難しく、どのような水準の生態的な安定が望ましいのかということをしっかり検討しておかないと、ウォーターランドスケープがあることがマイナス要因に働いてしまう。そのあたりは専門家を入れて検討しつつ、市民が果たせる役割と専門家がきちっとやるべきことの区別をつけた計画を立てる必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後、市民との連携を含め、善海田池・聖人堀における管理について、国・県・市で検討していく。

○石巻市慰霊碑設置計画(案)について

ご意見	対応状況
<p>慰霊碑設置提案場所は、祈りの場と門脇小学校をつなぐ軸線の上にあるような感じなので、ここだけを取り上げて別のデザインを持ち込むことによって、全体としての見え方を阻害するようにならないようにすべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 慰霊碑については、市立公園区域に設置し、全体の見え方を阻害しないように配置する。
<p>市・県・国でしっかり協議して委員会に諮ってほしい。検討結果は委員長に報告し、必要に応じて委員長から各委員に意見を求めるような段取りで取り扱う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国・県・市で協議を重ね、今回提案した場所に決定した。

○その他

ご意見	対応状況
公園完成時の夜の使い方に関して説明がほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 夜は他の県立公園と同様に閉園することとし、夜間に行われる行催事には仮設の照明で対応することを想定している。
来訪者がどのように利用するのか園外・園内モビリティも含めしっかり想定しておく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 国・県・市で十分に協議をしながら検討を進める。